

# 第2回 おきたまシネマ ドリームフェスティバル

とき 平成29年1月15日(日)

開場 12:30 開演 13:00 入場料 1,500円

於 伝国の杜 置賜文化ホール

主催 置賜名画座プロジェクト

共催 置賜文化フォーラム

## 出演者



ニコ。  
(齋藤絵美)

酒田市出身。映画やドラマ、舞台、テレビレポーターなど幅広く活躍中。

テレビ番組「奥田シェフPresentsごっつおケッチアーノ」レギュラー。(YBC山形放送で毎月第4土曜日AM9時40分～放送)

映画「夏のはじまる」で初出演・初主演でスクリーンデビュー。映画「いしゃ先生」ではオーディションにて照子役に抜擢。義理の父親役が古川氏である。その撮影をきっかけに会い、今度は本当の父娘役として舞台に挑む。

「何事も経験、何事も楽しく！」を motto に " 笑み " を大切に様々な事に挑戦していきます！

## 出演者



古川 孝  
(ふるかわたかし)

2000年に川西町フレンドリープラザ演劇学校を卒業し国民文化祭「わが町」に出演。川西町演劇研究会を主宰して「真夏の世の夢」、「オイディプス王」、「ばらばら」、「銀河鉄道の夜」などの公演を行う。2010年から4年にわたって米沢市民ミュージカル伝国座で「Faith」の主演を務める傍ら、映画「エクレール〜お菓子放浪記」、「ヲ乃ガワ-WONOGAWA-」、「私を愛した物体」、「おばあさんの反乱」、「父さんの花笠」子供のためのオペラ「ヘンデルとグレーテル」など、精力的な出演活動が続ける。

映画「いしゃ先生」にメインキャストとして出演。現在はFMコミュニティラジオ「おらんだラジオ」水曜日パーソナリティとして3時間生放送出演中。



予定プログラム第一部 (13:00~)

演劇 父と暮せば 作・井上ひさし

昭和二十三年の広島、福吉美津江の自宅。美津江は父竹造と二人で暮している。

ただし、その竹造は原爆の閃光を受けて三年前に死亡したはずなのだが・・・ある時再び美津江の前に現れたのである。でも美津江は特に動じたりおびえたりするそぶりはない。

美津江は明るく快活だが、こころの奥では原爆被爆後に生き残ってしまったことへの罪悪感を持っており、勤め先である図書館で原爆の資料を集めているという木下青年から好意を寄せられているものの、死者への罪悪感から親密になれないでいる。

竹造は美津江の日々の話し相手として彼女を楽しませ、時に諭し助言を与える。美津江は木下青年から彼の故郷の岩手に一緒に来てほしいと誘われたと竹造に告げる。竹造は、それは結婚の申し込みで、ぜひ行くべきだというのが美津江はまたも逃げようとする。

そして父と娘の最後の会話が始まるのだった。

父と暮せば



予定プログラム第二部 (14:45頃~)

映画 夏がはじまる

監督：富樫森 脚本：松本めぐみ

脚本協力：五十嵐愛

出演：齋藤絵美 佐久間利彦 菅原比路美

朝倉亮子 橋本せつ 梨乃 他

製作・配給：映画24区

協力：庄内映画村、まちづくり鶴岡

主人公・藤崎ななえ(23)は、幼いころに両親が離婚し、姉・みほと共に祖母・イノに育てられた。みほは嫁ぎ、イノが認知症を患い福祉施設に入所して以来、父・哲一と二人暮らしのななえ。東京への憧れを持ちながらも地元の漬物工場でアルバイトをしているが、職場の雰囲気にもなじめない。

そんなある日、哲一は借金返済の保証人を別れた元妻・有紀に頼むことに。有紀が久しぶりに家を訪れるが、家族は衝突してしまう。そんな時、イノが施設から急に姿を消した・・・。

希望とは何か？生きていくとはどういうことか？監督・富樫森の故郷山形で挑んだ第二章はちょっと不器用な家族のお話。

庄内キネマ製作委員会第一回製作作品。

[2013年/日本/55分]



くもりのち、はれ  
あたたかな光が、わたしたちを照らす

庄内キネマ第1回製作作品 監督：富樫森『おしん』

夏がはじまる

出演：齋藤絵美 佐久間利彦 菅原比路美 朝倉亮子 橋本せつ 梨乃

プロデューサー：宇生泰明、三谷一夫、丸山典由、小林好雄 脚本：松本めぐみ 脚本協力：五十嵐愛 撮影：鈴木博一(ISC)  
録音：石寺健一 助監督・編集：宮田宗吉 音楽：松美紀 制作：依田啓佑 演出助手：安河内理美 スチール・メイク：伊藤いづみ 宣伝：長岐真希  
撮影協力：東北芸術工科大学 映像学科 製作：庄内映画村、映画24区、まちづくり鶴岡  
制作・配給：映画24区 制作協力：庄内映画村

エンディング曲：優河「その向こうには」



映画24区

山形・庄内が教えてくれた今も昔も変わらない 家族の風景

お問合せ

置賜名画座プロジェクト  
0238-43-7773 (深町)